

# 折り返し地点を迎えて

市長 米本 弥一郎



私が市長に就任してから2年が経過し、4年任期の折り返し地点を迎えました。これまでの市政運営にあたり、支えてくださった市民の皆さまに心から感謝を申し上げます。

この2年間で振り返ると、市政のかじ取り役として、怒涛の日々を無我夢中で走ってきたという気持ちです。就任して真っ先に取り組まなければならなかったのは、何といっても新型コロナウイルス感染症への対応でした。ワクチン接種では、医師会や旭中央病院をはじめ、多くの医療関係者にご協力いただき、22万回を超える接種を完了することができました。そのほか、公共施設における感染拡大防止の徹底や、コロナ禍の影響を受けた市民や地域の事業者を支援するための各種給付金や経済対策など、全庁を挙げて実施してきたところ です。

また、変異株の出現など度重なる感染の再拡大により、市の事業を中止・縮小しなければならぬ状況が続きました。その中であって、生涯活躍のまち「みらいあさひ」のまちびらき、しおさいスタジアムのオープン、ロケツーリズム、CCDプロジェクト、日本一身近な海づくり「ぼるぼる」など、旭市の未来へとつながる事業を推進できたことは、大きな喜びであります。

しかしながら、まちづくりにゴールはありません。人口減少・少子化問題や物価高騰など、目まぐるしく変化する社会情勢をしっかりと把握しながら、市民の福祉向上を図ることが求められます。

市民の皆さまから託された夢や希望、そして責任の重さを心に刻み、これからも全力で邁進してまいります。